

2024 年 6 月 13 日

アメリカ合衆国 大使館 気付

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 殿

大阪よどがわ市民生活協同組合
理事会

アメリカ合衆国による臨界前核実験実施に抗議します

貴国は 2024 年 5 月 14 日に臨界前核実験を実施したことを明らかにしました。

核兵器の開発・維持向上を目的とする今回の実験は、現在の国際社会における核軍縮の動きに逆行する行為であり、被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いにそむくもので、断じて許すことはできません。

ウクライナに対するロシアの軍事侵攻では、ロシアが核兵器での威嚇をおこない、またイスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区との戦闘ではイスラエルの閣僚が核兵器の使用も選択肢だと発言するなど、現実的な核兵器使用の危険性が高まっています。

私たちは唯一の戦争被爆国の国民として、「平和とよりよい暮らし」を求める生活協同組合として、すみやかな核兵器の廃絶こそが世界平和実現への道であることを確信しています。

貴国が「核兵器なき世界」実現の先頭に立ち、核兵器禁止条約に加わるとともに、NPT（核兵器不拡散条約）で約束した誠実な核軍縮に取り組むことを強く求めます。

以上